

基本方針

SDGs／ESGの浸透

重点戦略

SDGs／ESG戦略

SDGs／ESGの取組みを強化することで地域社会の一員として社会問題の解決に貢献します。

サステナビリティに関する考え方

当行グループは、2019年に公表した「百五銀行グループSDGs宣言」のもと、SDGsを企業行動・経営戦略につなげ、地域における社会的課題の解決と経済発展の両立を図ることで、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。中期経営計画「未来へのとびらⅡ」の着実な遂行により、経済価値、社会・環境価値を創出することで企業価値を向上させるとともに、これからも地域に「頼りにされる銀行」をめざしていきます。

重点課題（マテリアリティ）の決定プロセス



百五銀行グループSDGs宣言

テーマ	重点課題（マテリアリティ）	取組方針	SDGs
環境 Environment	地球環境・ 地域環境の保全	- 環境保全や環境負荷低減につながる事業への支援により、持続可能な地球環境の実現に貢献します。 - 森林保全・省エネ活動を実践し、地域環境の保全と意識醸成をめざします。	6 安全な水と 衛生な水 7 2030年までに 再生可能エネルギー 13 気候変動に 適応する 14 海の豊かさ を増やす 15 陸の豊かさを 守る 17 パートナリ シップで目標を 達成しよう
社会 Social	地域経済の創造	- お客さまの多様な課題やニーズに応じた金融サービスを提供し、地域経済の創造に貢献します。 - 先進的な金融サービスを提供し、地域企業の付加価値向上やお客さまの良質な資産形成をサポートします。	8 豊かさを 創出しよう 9 産業と 雇用を 創出しよう 11 住み続け るまちを 作ろう 12 つくば ないで 消費しよう 17 パートナリ シップで目標を 達成しよう
	地域社会の 持続的発展	- 地域社会の課題やニーズを敏感にとらえ、事業活動および社会貢献活動をととして地域社会の持続的発展に貢献します。 - 次世代をささえる子どもたちへの教育を積極的に展開し、活力ある地域社会の実現に貢献します。	1 貧困を なくそう 2 健康で 福祉な 社会を つくろう 3 気候変動に 適応する 4 質の高い 教育を みんなに 提供しよう 8 豊かさを 創出しよう 10 人や国 ごとの 格差を なくそう 17 パートナリ シップで目標を 達成しよう
	ダイバーシティ推進	- 多様な働き方ができる職場環境を基盤に人材の能力を最大化し、働きがいの向上をめざします。 - 多様なキャリア形成を可能にする社会づくりに貢献します。	5 女性と 男性の 平等を すすめる 8 豊かさを 創出しよう 17 パートナリ シップで目標を 達成しよう
企業統治 Governance	経営管理態勢の強化	リスク管理体制、コンプライアンス体制の強化・充実により企業経営の透明性向上をめざします。	16 平和と 公正な 社会を つくる

百五銀行にとっての「地域」とは？

●本店が所在する三重県

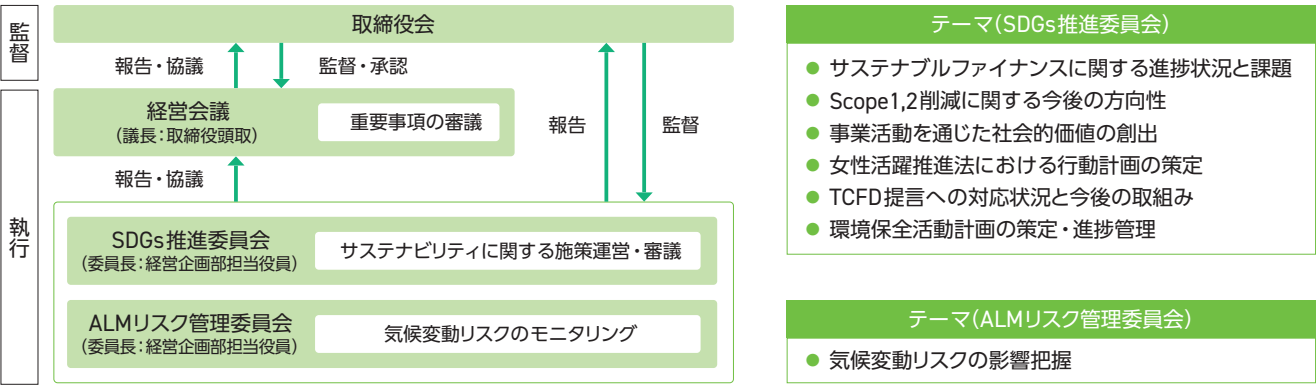
●三重県との経済的つながりが強くかつ隣接している愛知県

●三重県東紀州地域と一体となった和歌山県新宮市と定義しています。

サステナビリティに関するガバナンス体制・方針

ガバナンス体制

- サステナビリティに関する方針として「環境方針」「人権方針」「サステナブル投融資方針」を定め、グループ体となって環境・社会課題の解決に資する取組みを推進しています。特に、気候変動への対応は、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の考え方にもとづき、強化しています。
- 気候変動を含めたサステナビリティに関する対応の進捗状況・課題については、3か月に1度開催されるSDGs推進委員会にて、審議しています。また、気候変動リスクについては、その重要度を鑑み、都度適切にALMリスク管理委員会にて報告しています。
- SDGs推進委員会およびALMリスク管理委員会の委員長は経営戦略とのつながりを踏まえて、経営企画部担当役員が担当し、開催の都度、審議事項は取締役会に報告し、監督される体制となっています。



環境方針

- 当行グループは、事業活動が環境・気候および生物に与える影響を認識し、地域社会および地球的規模での環境に与える影響を軽減するため、継続的に気候変動への対応や環境保全活動および生物多様性保全に取り組んでいます。

「環境方針」については、右のQRコードをご参照ください。
<https://www.hyakugo.co.jp/kankyo-houshin/>

人権方針

- 当行グループは、さまざまな活動を展開するうえで、人権の尊重は取り組むべき基本的課題と認識し、役職員やお客さまの人権を尊重するとともに、ステークホルダーに対しても人権を侵害しないことを求め、地域とともに人権課題の解決に努めています。

「人権方針」については、右のQRコードをご参照ください。
<https://www.hyakugo.co.jp/jinken-houshin/>

サステナブル投融資方針

- 百五銀行グループは、資金の出し手として責任ある投融資を行うため、「百五銀行クレジットポリシー」を遵守したうえで、以下に例示する環境・社会にポジティブな影響を与える事業等に対しては、積極的に投融資を推進します。

〈環境〉 - 気候変動リスクを低減する省エネルギー・再生可能エネルギー事業 - 企業の脱炭素化社会への移行対応	〈社会〉 - 地域経済の持続的発展に資する創業・イノベーション創出・事業承継 - 社会インフラの維持・発展、地域の防災・減災に資する事業 - 高齢化・少子化等の課題に対応する医療・福祉・教育の充実
---	--

- 環境や社会に与える影響が大きいと考えられる「石炭火力発電事業」「森林伐採・焼却を行う事業」「大量破壊兵器・非人道兵器の製造事業」「強制労働等、人権侵害に関与する事業」に対しては、取組方針を定め、適切に対応を行っています。

「サステナブル投融資方針」については、右のQRコードをご参照ください。
<https://www.hyakugo.co.jp/sustainable-houshin/>

SDGs／ESGへの取り組み

地域のサステナビリティへの貢献

SDGs経営支援の取組み



SDGsの取組みが地域の企業にも浸透しているなか、自社が、社会課題にどう向き合っているかを認識することが重要となっ
てきています。当行では、お客さまの本質的なSDGsの取組みを
支援するためのコンサルティングを実施しています。

コンサルティング内容としては、
①SDGsを理解するセミナーやワークショップの開催
②当行オリジナルのチェックシートにもとづく「SDGs評価」と
具体的な取組みを示す「SDGs宣言書」の作成
③SDGs宣言内容に対する目標（KPI）設定支援
など、お客さまが「本質的に」SDGsの取組みを進めるための一気
通貫した支援を行っています。

SDGs評価・宣言書作成サービス

ご利用いただける方	SDGsに本質的に取り組む意向のあるお客さま
サービス内容	SDGsへの取組状況をオリジナルの評価方法にて見える化します。 (1)SDGs取組状況の診断 SDGsの観点から、既に取組みできている項目・今後強化すべき項目等の把握 (2)診断結果のフィードバック 診断結果レポートを通じたフィードバック (3)SDGs宣言書の作成 診断結果およびお客さまとのディスカッションを通じて今後の取組みを掲載したSDGs宣言書を作成

SDGs宣言書を
作成された企業 **55社***

*2022年4月～2024年3月末までの累計

Topics

SDGsカードゲームによる ワークショップの開催

当行では、企業全体におけるSDGs理解度向上と浸透
に力を入れており、経営者さまだけでなく、その企業で
働く従業員さまがSDGsを身近に感じていただけるよう
に、体験型カードゲームによるワークショップの取組み
を進めています。



参加者の声

- 自身の利益だけでなく、周囲と共同・連携してSDGsに取り組むことが重要だと感じた
- SDGsに対する考え方が変わった
- カードゲームを通じて他部署とのコミュニケーションが増え、仕事上でも良い影響が出てきている

Global Money Week（グローバルマネーウィーク）への参加



2024年3月、子ども・若者の金融経済教育・金融包摂推進の
ための国際的啓発活動である「Global Money Week（グロー
バルマネーウィーク）」の趣旨に賛同し、2023年に引き続き本
イベントに参加しました。

Global Money Week期間の主な活動として四日市工業高
等学校の1年生275名、高田高等学校の1年生約420名の生徒
の皆さんを対象に当行行員および当行グループの百五証券株
式会社から講師を派遣し、それぞれ、社会人として身につけて
おくべき金融知識の基礎を学ぶ「金融リテラシー講座」を行いま
した。具体的にはライフプランを立てることの重要性や、
資産形成の大切さなどを説明しました。参加者からも「これ
からの生活にお金に関わってくることを改めて感じた。社会

に出たときにお金に困って生活しにくならないよう気をつ
けたい」「お金をどれくらい持っているか、どのように増やす
かなど、常に考えながら生活したい」などの声があがりました。
当行は2002年から金融経済教育に取り組んでおり、今後も
百五銀行グループとして次世代をささえる若者への教育を積
極的に展開し、活力ある地域社会の実現に貢献します。



Global Money Weekとは

2012年から始まった子ども・若者の金融経済教育・金融包摂の推進のための国際的啓発活動です。2020年からOECD（経済協力開発機構）に事務局を置く「金融教育に関する国際ネットワーク（INFE）」の主催となり、開催期間中、世界各国のさまざまな団体が、子ども・若者向けの金融経済教育を推進するイベントを行います。12回目となる2024年のGlobal Money Weekは、「Protect your money, secure your future（お金を守り、未来を守ろう）」をスローガンに掲げ、日本では、3月1日（金）～3月31日（日）までを活動期間としました。



生物多様性の保全・循環型社会の形成

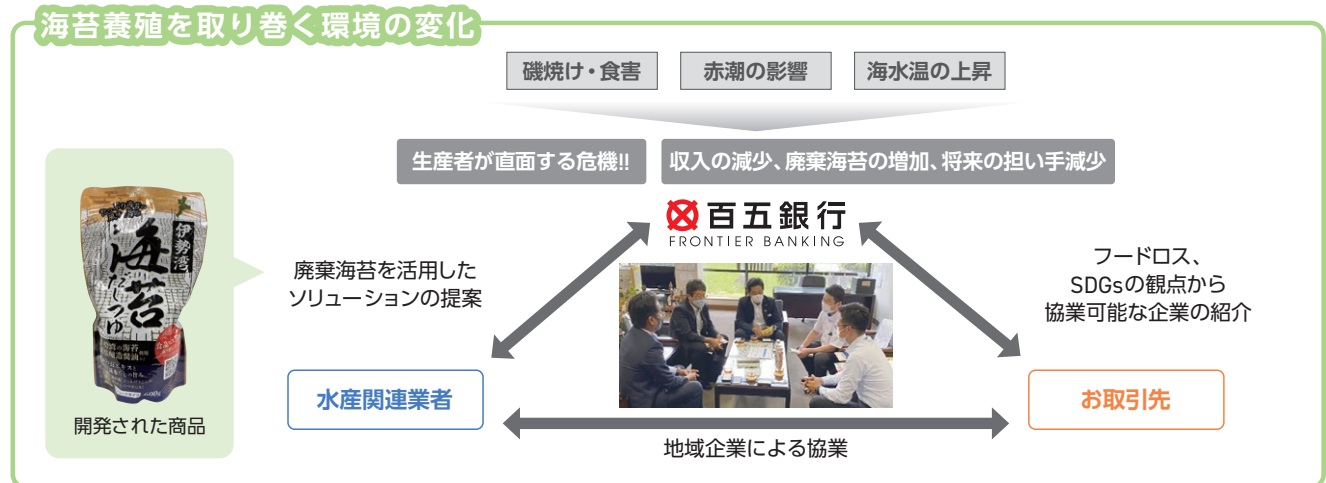
輸出支援をきっかけに海苔のアップサイクルを実現



当行では、輸出支援の取組みにおいて、従来の枠組みを超え
て実践型の支援を行うことを「超伴走支援」と名づけています。
水産品の輸出に向けた超伴走支援の活動のなか、お客さまより
廃棄せざるを得ない海苔を何とか活用できる方法はないかと
のご相談をいただきました。その一方で、醤油などの調味料の
輸出をめざすお取引先の支援も行っていたため、海苔を使っ
た鍋つゆの素開発を提案しました。2022年8月のキックオフ面
談から約1年、打ち合わせや試作を重ね、「海苔だしつゆ」とし

て2023年9月にスーパーマーケットなどで販売が開始され、現
在では海外への輸出も行われています。輸出に挑む県内事業
者さま同士の連携が商品化され、海洋資源の保全にもつなが
る結果となりました。

海に面する三重県において、お客さまの事業内容を事細かに
把握している地域金融機関だからこそできるスピーディーな
ソリューションで、環境、地域経済の両面で貴重かつ重要な海洋
資源の保全にも努めていきます。



「百五の森」を通じた生物多様性保全への取組み

当行では、森林所有者などとのマッチングを通じ、県内の森
林保全活動ひいては地球環境の保護・生物多様性保全への取組
みにつながるの思いから、2006年から「企業の森」に参画して
います。津市白山町（青山高原）と多気町丹生の2か所に「百五
の森」を設けており、2023年9月には、研修の一環として、地域
で活動するNPO法人の職員の方とともに、新入行員61名が多気
町の「百五の森」にて林内・遊歩道の整備に取り組みました。
地域で活動するNPO法人「みやがわ森選組」の職員の方から

森林の持つ役割や自然環境に与える影響、カーボンオフセット
などの説明を受けながら、倒れた木を取りのぞき山道の清掃に
汗を流しました。また、チェーンソーで木を切るところを見学
するなど、林業従事者の仕事の厳しさなども肌で学びました。



クローズドリサイクルによる廃棄物再生利用の取組み

当行グループ会社である百五管理サービス株式会社では、
2022年9月から、製紙会社およびリサイクル業者と連携し、ク
ローズドリサイクルに取り組んでいます。クローズドリサイ
ルとは、当行の保存期間が過ぎた書類（紙ごみ）をトイレッ
トペーパーに再生して再び当行で使うリサイクルの方法です。

2023年度は32トンの廃棄書類を20万ロールの再生トイレッ
トペーパーへと生まれ変わらせ、647本に相当する森林伐採の抑制
と年間約48tのCO₂削減に貢献することができました。

今後も、クローズドリサイクルの取組みを通じて、持続可能
な循環型社会の実現に貢献していきます。

